

広報

おのまち

2025

10

No.752



笑顔とがんばりの町





9月27日、塩竈神社祭礼で奉納された獅子舞の一コマ。

祭りの始まりとして、早朝から舞が披露され、毎年の祭りの風物詩の一つとして町民の皆さんから親しまれています。

広報おのまちは



iOS用



android用



で配信中！



で配信中！

※カタログポケットは、多言語への翻訳機能があるため、外国籍の方でも簡単にご利用できます。

- 02 INDEX / ARフォトフレームのお知らせ【第2弾】
- 03 令和7年度小野町総合防災訓練
- 04 広島平和記念式典派遣事業
- 06 3歳児よい歯の表彰式
- 07 百歳賀寿／
小野町ソフトボールスポーツ少年団東北大会優勝！／
ご寄附ありがとうございます／小野町戦没者追悼式
- 08 第32回町民グラウンド・ゴルフ大会開催／
第2回3町村老人クラブ合同交流事業／
「子育て応援アプリおののびby母子モ」配信中
- 09 小野町学力向上推進事業／
おのまち文化祭が開催されます
- 10 小野小通信／小野中通信
- 11 小野高通信
- 12 おのまち認定こども園通信／
地域子育て支援拠点事業(おひさまカフェ)のお知らせ／
令和8年度おのまち認定こども園入園児募集のお知らせ
- 13 おのまち地域おこし協力隊活動記／
☆放課後児童クラブです☆
- 14 マイナンバーカードの申請をサポートします／
福島県後期高齢者歯科口腔健康診査受診のお知らせ
- 15 おのまちごみ減量大作戦！／障害年金について
- 16 お知らせ
- 18 ふくしまポータルいれっぺ！キャンペーン
- 19 インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症予防接種
費用助成のお知らせ
- 20 通院中の方も、自覚症状がない方も、年に1度は健診受診！／
公立小野町地方総合病院からのお知らせ
- 21 ～ 令和7年度追加健診(予約制)のお知らせ ～／
小野町地域包括支援センターからのお知らせ
- 22 小野町社会福祉協議会からのお知らせ
- 23 夜間診療所当番医・休日当番医
- 24 各種健診・教室などの日程
- 25 食品放射能測定結果／上水道水質検査結果／
町の人口・世帯数／お誕生おめでとう／
おくやみ申し上げます／町税等納期のご案内
- 26 おのまち健康まつり

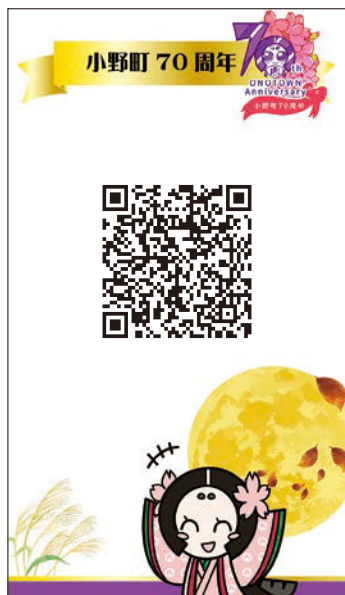
※QRコード有効期限は令和8年3月31日までです。
デジタル推進室
7212111

デザイン2 (秋Ver)



※東堂山山門をイメージしたデザインとなっています。

デザイン1 (70周年記念Ver)



画面に収まるように撮影しましょう。

【利用方法】

次のQRコードを読み取ると、フォトフレームが現れますので、画面に収まるように撮影しましょう。

小野町町制70周年を記念し、町民の皆さんへ思い出を残してもらうため、ARフォトフレームを2種類用意しました。

今回は第2弾として、秋を感じられるデザインへ一新し、季節の移り変わりを楽しみながら撮影ができます！

スマホで撮影できる
ARフォトフレームのお知らせ【第2弾】

令和7年度小野町総合防災訓練 ～防災意識の向上を図る～



令和7年度小野町総合防災訓練が9月7日、小野運動公園で実施されました。

訓練は、河川の氾濫や震度6弱の地震、土砂災害などを想定して行われ、災害発生時における初動体制の確認から始まり、倒壊建物からの負傷者救助では警察、消防、災害救助犬と連携した訓練を実施しました。さらに要支援者や外国籍住民などの受け入れを想定した指定避難所設営・住民避難訓練、避難者に食事提供を行う炊き出し訓練、河川の氾濫を想定した水防訓練、山林火災を想定した大規模火災防御訓練など、幅広い分野の訓練を消防、警察、自衛隊、関係団体と連携して実施しました。

また関係団体や企業による展示や体験ブースが設けられ、災害救助犬とのふれあい、119番体験、防災アプリ体験、災害伝言ダイヤル体験や防災グッズ展示などを行い、来場者に対して防災への意識向上を図ることができました。

防災訓練の実施にあたり、ご協力をいただいた各種団体・企業の皆さんに紙上より厚くお礼申し上げます。

- 1_はしご車による消火活動
- 2_水防訓練
- 3_被害状況調査訓練
- 4_消火器体験
- 5_大規模火災防御訓練
- 6_災害救助犬訓練
- 7_避難所設営訓練
- 8_負傷者救助訓練
- 9_炊き出し訓練

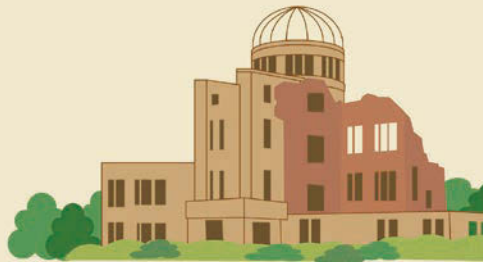


広島平和記念式典派遣事業

平和への思いを胸に刻む 広島平和記念式典に中学生4人が参列

町では、令和4年度から将来を担う中学生に戦争の悲惨さや平和の尊さについて理解を深めてもらうことを目的に、「広島平和記念式典派遣事業」を実施しています。

派遣事業では、平和記念式典への参列や全国こども平和サミットへの参加、原爆ドームや広島平和記念資料館、折り鶴タワーの見学などを行いました。参加した4人の中学生は本事業を通して平和への思いを深く刻み込んでいました。



◀ 原爆ドームを見学



◀ おりづるタワーで記念撮影

資料館で見た写真には、全身に大やけどを負った人や、放射線の影響で体に斑点ができている人の姿が写っていました。それ

二つ目は、原爆の威力です。資料館で見た写真には、全身に大やけどを負った人や、放射線の影響で体に斑点ができている人の姿が写っていました。それ

広島で学んだことは四つあります。まず一つ目は、原爆の恐ろしさです。僕は最初、原爆のことをあまり知りませんでした。けれども、被爆者の方のお話や、平和記念資料館で見た絵や写真、展示物を通して、原爆の恐ろしさを強く感じました。そして「原爆を持つこと自体が絶対にあってはいけない」という思いを改めて実感しました。

僕がこの広島平和記念式典派遣事業に応募した理由は、広島に落とされた原爆のことを自分だけでなく多くの人に知ってもらいたいと思ったこと、そしてこの事業を通して自分自身を成長させたいと思ったことからです。この二つの使命を果たせるように広島でしっかり学びたいと考えました。



2年2組 村上楓

この広島平和記念式典派遣事業では、言葉だけではなく「心」で大切なことを学ぶことができました。これからも広島で学んだことを忘れずに活かしていきたいと思っています。この事業に参加できて本当に良かったです。ありがとうございます。

さらに、被爆者の方が描いた絵には、必死に逃げる様子や、喉の渇きから汚れた黒い雨を飲む人の姿、自転車ぐにやぐにやに曲がったものや、空き瓶が溶けて形を失ったものなどが描かれていました。こうした「悲しみ」の数々は、直接目で見なければ分からないものだと思います。だからこそ、皆さんにもぜひ現地に行ってみてほしいです。

三つ目は、人々の頑張りです。原爆が落ちた中心部から二百メートルの範囲は、建物もすべてなくなり、残ったのは怒りと悲しみだったのだと思います。そこから力を合わせ、一から復興を成し遂げたことで今の広島があります。そのことを考えると、本当に「すごい」と思いました。また、広島の人々だけでなく、全国の中学生が核廃絶を訴える活動に取り組み、大人の方々も本気で核をなくそうと頑張っている姿を知り、自分もこれからもっといろいろなことを頑張っていきたいと思いました。

四つ目は、今の幸せです。僕たちは今の生活に慣れてしまっています。この毎日を決して当たり前ではないと強く感じました。この広島平和記念式典派遣事業では、言葉だけではなく「心」で大切なことを学ぶことができました。これからも広島で学んだことを忘れずに活かしていきたいと思っています。この事業に参加できて本当に良かったです。ありがとうございます。

私が今回この事業に参加した理由は、「二発の原子爆弾が一体どのような被害をもたらしたのか」「原爆によって広島と長崎が壊滅的な状況に陥ったのにも関わらず、なぜ核兵器を保有している国があるのか」という二つの疑問があり、直接現地を訪れ、資料館などを見学したりして、それらの答えを求めたいと思ったからです。実際に広島を訪れてまず思ったことは、「とても都会的な場所」ということです。八十年前に原爆が投下されて壊滅的な状況になったとは思えないほど、とても綺麗で魅力的な街並みでした。

私が今回この事業に参加した理由は、「二発の原子爆弾が一体どのような被害をもたらしたのか」「原爆によって広島と長崎が壊滅的な状況に陥ったのにも関わらず、なぜ核兵器を保有している国があるのか」という二つの疑問があり、直接現地を訪れ、資料館などを見学したりして、それらの答えを求めたいと思ったからです。実際に広島を訪れてまず思ったことは、「とても都会的な場所」ということです。八十年前に原爆が投下されて壊滅的な状況になったとは思えないほど、とても綺麗で魅力的な街並みでした。

私が今回この事業に参加した理由は、「二発の原子爆弾が一体どのような被害をもたらしたのか」「原爆によって広島と長崎が壊滅的な状況に陥ったのにも関わらず、なぜ核兵器を保有している国があるのか」という二つの疑問があり、直接現地を訪れ、資料館などを見学したりして、それらの答えを求めたいと思ったからです。実際に広島を訪れてまず思ったことは、「とても都会的な場所」ということです。八十年前に原爆が投下されて壊滅的な状況になったとは思えないほど、とても綺麗で魅力的な街並みでした。



2年3組 松本一真

業では、言葉だけではなく「心」で大切なことを学ぶことができました。これからも広島で学んだことを忘れずに活かしていきたいと思っています。この事業に参加できて本当に良かったです。ありがとうございます。

八月六日の朝八時前、広島平和記念式典の会場周辺にはたくさんの方がいました。式典が始まり、広島市議会議長をはじめ、

広島市長・内閣総理大臣・広島県知事・国際連合事務総長の方がスピーチをしました。印象に残ったのは国際連合事務総長がスピーチをしていた時です。デモ団体が発したと思われる拡声器からの声がかすかに聞こえました。いくら「弁論の自由」とはいえ、亡くなられた方々を慰霊する式の最中に妨害をするような行為は非常に不適切だと思います。

その後、「第一回全国子ども平和サミット」に参加しました。ここでは広島市立広島特別支援学校高等部による合唱や、実際に被爆された方からの講話、詩の朗読、全国の発表団体による平和への取り組み発表がありました。

その中でも私は、被爆された方からの講話がとても深く印象に残りました。その方の姉は柱の下敷きになり即死、母はなんとか一命を取り留めたものの、何十ものガラス片が体に刺さり、その破片の一部は左の眼球にも突き刺さり失明したそうです。お話を聞いていて、とても悲しかったのです。ですが、そのような絶望的な状況の中でも生き続

け、今回のサミットのような場で被爆した体験を語り続けていることにとても力強さを感じました。

悲観的な見方ですが、私は、「戦争が起こりうるリスク・可能性」はなくならないのではないかと思います。なぜなら、戦争は規模が非常に大きい「喧嘩」だと思うからです。その喧嘩は身近なところで起こります。いざ喧嘩が起こった時にどうするか。そこがとても重要なのではないのでしょうか。

「力」、それは使い方によっては、痛い・悲しいなどの思いをする人が必ず現れます。揉め事が起きた時、暴力を使うのではなく、話し合いをすることによって、平和に折り合いをつけられるのではないかと、今回この事業を通して思いました。

2年2組 長久保咲愛



私がこの広島平和記念式典派遣事業に参加した理由は、「な

ぜ原爆はつくられ、広島に落とされたのか」どうすれば平和を広め、守っていけるのか」を知り、考え、まだ知らない人たちに伝えたいと思ったからです。私たちは戦争がどんなものだったのか、当時の生活がどんなに苦しかったのかを知りません。だからこそ、現地に行つて、テレビやインターネットでは分からないことを学びたいと思いました。

実際に平和記念式典に参加して、たくさんの方のお話を聞き、原爆ドームや平和の灯火を見たとき「戦争は本当に怖いものだ」「二度と繰り返してはいけない」という思いが強まりました。全国子ども平和サミットでは、被爆者の梶矢さんのお話を聞きました。写真や映像を見ながらの体験談は、現実とは思えないほど悲惨で、想像するだけで胸が苦しくなりました。「地獄の真ん中に立っているようだった」という言葉を聞いたとき、もし自分がそこにいたらと思うと怖く

て鳥肌が立ちました。

被爆体験記の朗読や原爆詩からも、短い言葉にこめられた恐怖や悲しみ、大切な人を救えなかった悔しさが伝わってきました。被爆から長い年月がたつても、心の傷や記憶は消えることがないのだと強く感じました。資料館では、黒こげになつ

た服や、熱線で人影が残った階段を見ました。ケロイドに苦しむ人の写真や、原爆症で体に斑点が出ている姿も展示されていて、言葉を失いました。それでも人々はそのから希望を見つけ、平和をつくるために歩み始めたことを知り、「強い心と努力が今の平和につながっているんだ」と思いました。

また、広島が原爆投下の目標にされた理由についても学びました。軍事拠点だったこと、日本の降伏を早めるためだったこと、都市の規模から大きな被害を与えられることなど、いくつもの理由があったと知りました。そのことを考えると、戦争の非情さを改めて感じました。

戦争では大切な人を失い、生きる気力をなくした人がたくさんいました。原爆はさらに死者を増やし、日常を奪いました。「みたび許すまじ」「同じ過ちをくり返してはいけない」という展示の言葉が心に残っています。それでも今も戦争や争いが続いていることを思うと、悲しくなります。科学や経済が発展した今だからこそ、ほんの小さなきつかけでまた戦争が起きてしまうのではないかという不安もあります。

だからこそ、私たちができることを大切にしたいと思います。

あいさつをきちんとする、目標を立てて努力するなど、どんなに小さなことでも積み重ねていくことが平和をつくる力になると感じました。八月六日の出来事を忘れず、この大切な記憶を守り、次の世代へ伝えていきたいです。

2年3組 佐藤美音



私が広島に興味をもったきっかけは、テレビで終戦から八十年という特集番組を見たことです。そのときの私は遠く離れた広島被害をよく知りませんでした。また、なぜ多くの死者や大きな被害を出した核兵器が再び現代で使われようとしているのか疑問でした。

実際に広島に行つて、私は被害を軽く見過ぎていたことに気付きました。

平和記念式典では、猛暑の中、会場を埋め尽くすほど大勢の人がいました。驚いたのは海外の人が多く参列していたことです。

海外のメディアも多くいました。原爆の被害は日本だけでなく、世界でも衝撃的で心を痛める出来事だったのだと思います。いろいろな方がスピーチをしていた中で、小学六年生二人の平和への誓いが心に残りました。「たとえ一つの声でも、思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはず」。その通りだと思いました。私たち一人一人が平和を願うこと、声に出して伝えることが平和への一歩だと強く思いました。式典に実際に参加して、一つ一つの言葉の重みが今までとは全く違うように感じられました。

その後に参加した「全国こども平和サミット」では様々な学校の平和への取り組みや、実際に被爆した梶矢さんのお話を聞きました。

梶矢さんが「朝目覚めたこと、今日生きられたことが最大の喜びだった。」と語る姿が印象的でした。私たちに与った普通の一日は当たり前ではなく、とても大切な一日一日なのだと実感しました。

最終日に見学した広島平和記念資料館では目をつぶりたいくなるような現実がそこにあり、自然と涙が出ていました。原爆の被害にあった子ども達が着ていた服や黒こげになった弁当、亡

くなった方々の遺品や写真などが、原爆の被害の大きさをいかに残酷的なものであったかを物語るとともに、実際に誰かがあの日生きていたという証として、目の前にありました。

私は広島平和記念式典派遣事業に参加して、当たり前の日々は本当はとても幸せな日々なのだと気付きました。そんな日々が再び当たり前でなくならないために、この世界がずっと平和であり続けるために何ができるでしょうか。私が考える平和のためにできることは、日々に感謝する事だと思っています。友達や家族、関わってくださる人々に感謝の気持ちをもち、協力や思いやりの気持ちが広がれば、多くの人が笑顔でいられるはずです。また、原爆の被害を知ること、原爆の恐ろしさ、戦争がどんなにひどいことか知ること大切だと思います。私が初めに思った疑問に対してもそうだと思います。あんなにも大きな被害を出したというのに再び核兵器が使われようとしているのは被害をよく知らないから、被害を知らないからこそ甘く見ている。私も広島に実際に行って色々なことを見聞きし

て知ることができたからこそ、日々の大切さや原爆の現実を知ることができました。まずは知ってよく考えてみることで、それが平和への第一歩なのではないでしょうか。

◀原爆死没者慰霊碑



3歳児よい歯の表彰式

おめでとうございます！ これからも歯を大切に！



3歳児よい歯の表彰式が9月26日、子育て支援課キッズルームで行われました。今回表彰されたのは、7月の3歳児健診を受けて、むし歯が1本もなかったお子さんです。

お子さんは一人ひとり、町長から表彰状と記念品を受け取りました。表彰を受けたお子さんは次のとおりです。(敬称略)

表彰を受けたお子さん

竹田 紫乃	村上 紗奈	二瓶 湊斗	永林 隼翔
吉田 零	春山 紬風	宮内にいな	先崎 いろは
山寺 汐音			(生年月日順)



3人が9月20日に100歳の誕生日を迎えました

9月20日、伊藤ミツエさん(谷津作)、横田猛雄さん(飯豊中)、宗方美代子さん(夏井)の3人がめでたく満百歳の誕生日を迎えました。

百歳賀寿などの伝達は、伊藤さんと横田さんは自宅で、宗方さんはグループホームおのまちの憩でそれぞれ行われました。

町から賀寿ならびに敬祝金、県から賀寿ならびに木杯、町議会、町社会福祉協議会からお花のアレンジメントがそれぞれ贈られました。

伊藤さんは、毎日早起きをして新聞を読むことを日課としており、デイサービスを楽しみにしています。

横田さんは、テレビで相撲を見るのが好きで、「マイペースで過ごすことが長生きの秘訣です」と話されました。

宗方さんは、食器を拭くお手伝いをするなど、デイサービスのスタッフの皆さんからも頼りにされています。

3人の皆さんが、いつまでもお幸せに過ごされますよう心からお祈りします。

小野町の100歳を超える長寿の方々は、9月末で17人です。



伊藤ミツエさん



横田猛雄さん



宗方美代子さん

小野町ソフトボールスポーツ少年団 東北大会優勝！

9月6日、第24回内田清杯東北小学生男女ソフトボール大会が秋田県で開催され、小野町ソフトボールスポーツ少年団が福島県代表として出場しました。

東北各地区予選を勝ち抜いたチームが出場し、試合はトーナメント方式で行われました。小野町チームは順調に決勝まで勝ち進み、同じ福島県代表の猪苗代スポーツ少年団と対戦し、攻守のバランスがとれた試合運びで7対3と快勝し、みごと優勝を飾りました。

選手の皆さん大変お疲れさまでした。今後、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



優勝を飾った小野町ソフトボールスポーツ少年団の皆さん

ご寄附ありがとうございます

このたび、齋藤升男さんから町のエducational行政の発展のために役立ててほしいと、ご寄附をいただきました。

いただいた寄附金は、町のエducational行政の発展のために有効に活用させていただきます。

このたびのご厚意に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。



齋藤升男さん(右)

小野町戦没者追悼式

戦没者を偲び恒久平和への誓いを新たに

町主催、小野町遺族会共催による令和7年度小野町戦没者追悼式が9月22日、セレモニーホールくさので行われ、戦没者の遺族および議会議員のほか、行政区長会、民生児童委員協議会の各代表者が参列しました。

式典では参列者全員で国歌を斉唱し、黙とうを行った後、町長の式辞に続き、来賓を代表して、田村弘文議会議長、中原貞一小野町遺族会会長が追悼の言葉を述べました。その後参列者一人ひとりが戦没者を偲び献花をして、恒久平和を祈りました。



追悼の言葉を述べる中原貞一遺族会会長

第32回町民グラウンド・ゴルフ大会開催

第32回町民グラウンド・ゴルフ大会が8月23日に開催されました。大会には、21行政区から182人の多くの方が参加しました。当日の競技は、多目的グラウンドと野球場に設けられた32ホールで行われ、参加者の健康増進と親睦を図ることができました。成績は次のとおりです。(敬称略)



グラウンド・ゴルフ大会の様子

■団体の部

順位	行政区	スコア
優勝	吉野辺B	246
準優勝	谷津作A	256
第3位	荒町A	262

■男子の部

順位	行政区	氏名	ワン	スコア
優勝	雁股田	荻野 和美	2	34
準優勝	菖蒲谷	矢吹 徳勝	1	37
第3位	吉野辺	佐久間守夫	0	37

■女子の部

順位	行政区	氏名	ワン	スコア
優勝	吉野辺	館川 和子	2	38
準優勝	仲町	平山 良子	1	38
第3位	塩庭二区	吉田 二三	1	39

第2回3町村老人クラブ合同交流事業

～小野町・川内村・葛尾村の3町村交流～

「第2回3町村老人クラブ合同交流会」が9月22日、多目的研修集会施設で開催され、小野町・川内村・葛尾村の老人クラブ会員、約100人が参加しました。

午前中は、囲碁ボール、スカットボール、ボッチャといったニュースポーツを通じた健康づくりと介護予防に取り組みました。プレー中は歓声上がる場面もあり、楽しい雰囲気となりました。

午後からは表彰式が行われ、上位入賞者に記念品が贈られました。その後は、意見交換会を行い、日頃の老人クラブ活動の中で健康で元気に過ごすことや楽しみと生きがいを実感しながら社会参加を推進することなどの意見があり、老人クラブ活動の意識を高める有意義な一日となりました。

来年度は葛尾村で開催する予定です。

▶老人クラブ合同交流会の様子



○便利な機能がたくさん

「子育て応援アプリおののびby母子モ」配信中
町では、妊娠期から出産・子育て期をサポートするアプリ「子育て応援アプリおののびby母子モ」を配信中です。



便利な機能が
たくさんあるよ！



※アプリの主な機能※

■子育て情報配信
妊娠・出産や子育てに関する町のお知らせやイベント情報、各種申請手続きなどを簡単に確認することができます。

■予防接種の管理
お子さんの生年月日や接種履歴をもとに、接種できるワクチンと最適な接種間隔を自動で算出し、予定日が近づくこと前にお知らせが届きます。

■子どもの成長記録
150種類の記念日を参考に、写真とコメント付きで記録ができ、日々のできごとを思い出として残すことができます。

■家族共有
お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができます。

このほかにもさまざまな機能がたくさんあります。妊娠している方、すでに子育てをされている方、ただでもご利用が可能です。お気軽にご利用ください。



母子モアプリ
アイコン



母子モ
QRコード

☎ 子育て支援課
7212212